

任期の折り返して政策提言！

町民の幸せと町政発展を願って



いつもお世話になっております。高畠町議会議員の木村雅博です。早いもので、4年任期の半分が経ちました。議会活動の柱となる委員会活動には「総務文教」と「産業厚生」の二つがあり、私は「総務文教常任委員会」所属です。その成果として「政策提言」を、令和7年6月20日（金）役場3階の委員会室にて、高梨町長はじめとする執行部側へ提出いたしました。

木村まさひろです。

木村まさひろ後援会ニュース
発行・編集：木村まさひろ後援会

総務文教常任委員会から

地域コミュニティー

言、テーマは二つで、「地域」コミュニティーの活性化」と「高畠高校の魅力化」です。

自治会など地域「ミニユニーク組織は、まちづくりの基盤であり、中心的な役割を担つてきました。しかしながら、少子高齢化が進み社会状況が激変する中で、行事の継続が困難となり、役員のなり手不足に拍車がかかるなど、組織の存続自体も危ぶまれてきてています。そこで、この問題を町の共通課題として次の提言を行いました。

少子化の波を受け、県立高畠高校の入学者が減少しています。町の重要な教育資源である高畠高校を支援し、魅力ある高校とするために次の政策を提言しました。

- ① 就学支援金制度の柔軟化と有効活用

高畠高校の魅力化

- ② 地域「ミニユニーク」が抱える課題を調査、検討すべき
- ③ 防災、福祉分野等の様々な団体、専門家と連携する
- ④ 自治会の在り方の検討と並行して、地区公民館が果たす役割の検討をおこなう

新設「総務産業常任委員会」で委員長に就任！

高畠町議会では、行政事務について調査・審査する範囲を所管として二つに分けています。

この度、これまでの「総務・文教」と「産業・厚生」の構成を見直し、「総務・産業」と「厚生・文教」に再編しました。

令和7年9月1日の臨時議会で、半期交代による体制を取り決め、私は新設した「総務産業常任委員会」の委員長に就任しました。

議会運営／広報

議会の活性化と議会運営を担当する「議会運営委員会」のメンバー

となり、「広報広聴常任委員会」では、議会をより担当する「広報部会」に所属します。



今回の提言に対し、年度末の3月には町から回答が寄せられる予定です。



総務文教常任委員会の政策提言、テーマは二つで、「地域」コミュニティーの活性化」と「高畠高校の魅力化」です。

- ① 地域「ミニユニーク」が抱える課題を調査、検討すべき
- ② 防災、福祉分野等の様々な団体、専門家と連携する
- ③ スクールバスの運行見直しと利用しやすいダイヤの再編成
- ④ 魅力化のため「高畠高校魅力化推進会議（仮称）」の創設

② 県外入学者等の受け入れのため学生宿舎整備と運営支援



給食と一緒に食べた5年2組で、隣の男子児童から牛乳パックのたたみ方を教わった！



学校農園

菊池大二郎衆議院議員と高梨町長、三人で談笑↓

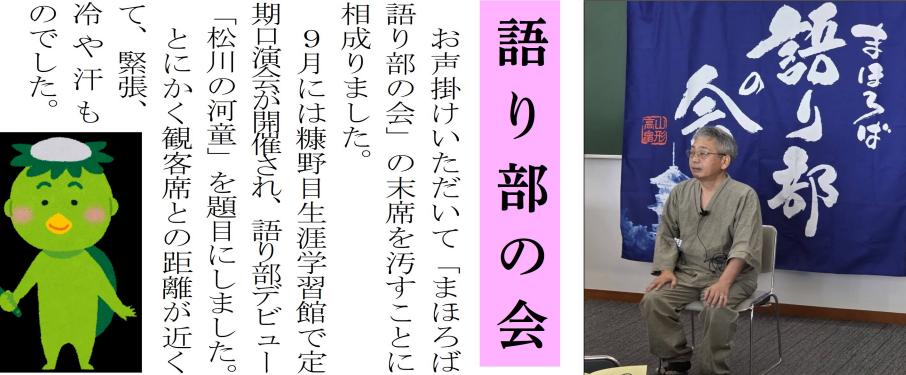


芳賀道也参議院議員と高梨町長→

涼んでいるご近所さんと舟山やすえ参議院議員↓



糠野目小学校の「学校農園応援隊」に加わりました。沢口地区内約1反（10アール）の農地に、3年生が秘伝大豆、4年生はジャガイモ、5年生は大根を植えて収穫まで行いました。残念ながら秘伝大豆の出来が良くなかったのですが、ジャガイモ・大根とともに豊作でした。12月の招待給食にも参加しました。



語り部の会

お声掛けいただき、「まほろば語り部の会」の末席を汚すことになりました。

9月には糠野目生涯学習館で定期口演会が開催され、語り部デビュー「松川の河童」を題目にしました。とにかく観客席との距離が近くて、緊張、冷や汗ものでした。



さらにスキルアップして、発表機会を作つていただきたいです。

防災士活動

防災士活動としてのデビューは、5月に開催された糠野目区長会・民生委員等懇談会で、自主防災について40分程度講演し、その後のグループディスカッションにも加わりました。



高畠町合同式典

11月3日、文化ホールまほらにて、町制施行130周年・町村合併70周年の合同式典が行われ、功労者表彰、感謝状の贈呈がなされました。記念事業として、元京都大学総長 山極壽一氏による「ゴリラに学ぶ未来の生き方」と題した講演会が開催されました。

木村まさひろ後援会

事務所

〒999-2178

高畠町大字上平柳1995-15

連絡先 090-1379-1721

FAX 0238-57-3083

ホームページ: <https://masa-kimura.com/>

電子メール: kimura@masahiro.name

木村まさひろ
オフィシャルサイト



ファイスブック
Facebook



インスタグラム
Instagram

SNS

木村 雅博 議員



動画配信はこちから



地域防災力を高める 取り組みは

町長 地域の防災活動との連携を進めたい

問 令和7年度施政方針の「安全・安心なまちづくり」において、「事前防災」の視点で町全体の防災力向上を図り、町民一人一人が防災意識を持ち、自主防災組織が本来の力を発揮できるようにとあります。そこで、防災士養成講座への受講者を増やし、「防災士」により自主防災組織を強化する体制を行つてはどうか。

答 町内に居住または勤務する防災士で地域の防災活動へ参加を希望する方に、地区の自主防災組織連絡協議会への参画をお願いした。防災士の養成を継続し、今後も地域の防災活動との連携を進めたい。

問 令和7年度施政方針の「安全・安心なまちづくり」において、「事前防災」の視点で町全体の防災力向上を図り、町民一人一人が防災意識を持ち、自主防災組織が本来の力を発揮できるようにとあります。そこで、防災士養成講座への受講者を増やし、「防災士」により自主防災組織を強化する体制を行つてはどうか。

問 令和7年度施政方針の「安全・安心なまちづくり」において、「事前防災」の視点で町全体の防災力向上を図り、町民一人一人が防災意識を持ち、自主防災組織が本来の力を発揮できるようにとあります。そこで、防災士養成講座への受講者を増やし、「防災士」により自主防災組織を強化する体制を行つてはどうか。

自主防災組織で 地区防災計画を

問 災害被害の軽減は自助・共助・公助の効率的な組み合わせで実現できる。「共助」の役割を負う自主防災組織が、「福祉マップ」や「地区防災計画」等の作成を進めるべきではないか。

答 地区防災計画は福祉マップよりも具体的な災害時の行動などをまとめる機会となり、その重要性は認識してもらいたい、計画の作成は段階的に普及を図つていきたい。

問 災害被害の軽減は自助・共助・公助の効率的な組み合わせで実現できる。「共助」の役割を負う自主防災組織が、「福祉マップ」や「地区防災計画」等の作成を進めるべきではないか。

答 地区防災計画は福祉マップよりも具体的な災害時の行動などをまとめる機会となり、その重要性は認識してもらいたい、計画の作成は段階的に普及を図つていきたい。

新たな防災マップ の内容と時期は

問 想定を超える大雨が発生し、「内水氾濫」による被害が全国で相次いでいる。早急に山形県および農業用水路管理者と協議を行い、調査等を進めるべきと考えるが、どうか。

答 県では、内水氾濫の対策として、河川内の支障木伐採など防災対策を進めている。町としても、県、地

問 県が新たに公表する情報を取り込んだ「防災マップ」を作成する計画があるが、その主な内容と配布時期は。

答 新たな防災マップには、新たな土砂災害が発生するおそれのある箇所や中小河川の洪水浸水想定区域等を追加することとしている。

問 配布時期についてはできるだけ早期に配布したいと考える。

答 新たな防災マップの説明会を自主防災組織単位で計画しており、その際、情報を得る手法についても説明を行う予定である。需要があれば、防災出前講座のメニューにも追加したい。

災害情報の活用と 防災講習会の開催

問 防災に関する新たな情報が日々更新されている。

答 7年度、改訂する防災マップの説明会を自主防災組織単位で計画しており、その際、情報を得る手法についても説明を行う予定である。需要があれば、防災出前講座のメニューにも追加したい。



▲地域住民による支え合いマップの作成

木村 雅博 議員



動画配信はこちから



親しまれる 新庁舎となるために

町長 都度、改善を加えながら整えていく

新庁舎が5月7日開庁した。明るく暖かく開放感があり、それでいてコンパクトにまとまっている。町の新しいシンボルとして、皆に愛される庁舎になるよう祈念する。

ひと月たつて、仕事のしやすさや、職員の評価など、新庁舎の感想はどうか。

答 窓口業務を集約し、ワンストップでサービスを提供できる環境が整うなど、住民サービス向上につながっていると考えている。

一方、新庁舎で業務を進めていく中で、いくつかの課題も見えてきており、都度、改善を加えながら、利用しやすい環境となるよう

努めていく。

職員の来庁者対応についての取り組みは

職員の人手不足に対する対策は

みのある印象となる工夫もした。

職員は大切な町の資産(人財)であること

るが、町では現在どのような取り組みを重要視しているか。



▲親しまれる新庁舎窓口に